

北四十七間、四方田圃なり。村中に下野街道あり。東三町三十八間、本郡南青木組飯寺村に界い、鶴沼川を限とす。其村は丑寅に當り十四町三十間余、西三町、北三町、共に下小松村の界に至る。其村は酉戌に當り十一町三十間、南八町大沼郡本組本郷村の界に至る。其村は未申に當り六町余、又未の方二町上荒井新田村に至る。其村まで二町十間余。

○端村 出新田、本村の南五十間にあり、家数十八軒、東西四十二間、南北二町三十間、四方田圃にて村中に下野街道あり。寛永三年（一六二六）に開けり。其時蒲生氏より与えし制札を此村に持伝う。因に其文を載す。旧は此より東の方鶴沼川の傍にあり何の頃にか此に移せしとぞ。

定

大沼郡小松村に新田宿相立候、御代官給人共に構無之者、望次第罷出開作可仕候、并廿ヶ年以前に致欠落候者、屋焼人殺仕者之外は、御代官給人構雖在之罷出於令開作は異議有間敷候、御年貢之儀三年作取に被下候、御役義末代可被成御用摺候条可存其意者候也。

寛永三年（一六二六）二月廿四日

外池 信濃守

福西吉左エ門

稲田数馬之助

○宗願町 葦名盛氏本郷村の向羽黒山に城を築き、元龜元年（一五七〇）此処に町を開き、医師糟尾宗願と云者を置し故、此名あり。本村の巳午の方五町十間余にあり。家数二十軒、東西五十三間、南北一町二十間、四方田圃にて、東は鶴沼川に近し。宗願がこと滝沢組滝沢村の条下を併見るべし。

○山川 鶴沼川、俗に大川と云。村東三町三十間余にあり、本郷村の境より来り、北に流ること二十町余、飯寺村の界に入る。○閩梁 渡船場、村東にて鶴沼川を渡す。府下より下野国に通る街道なり。冬月は橋を架す。